

平成 23 年度後期・授業評価アンケートの概要【上野原・山梨市】

[I]はじめに

平成 23 年 12 月 14 日（水）～平成 24 年 1 月 23 日（月）（但し半期科目は平成 23 年 11 月 9 日（水）～12 月 20 日（火））の 1 週間にわたって、授業改善を目的とした、学生による「授業評価アンケート」をほぼ全科目で実施しました（*1）。ご協力ありがとうございました。以下では、原則として回答番号の「5（肯定的評価）」から「1（否定的評価）」までを点数とみなして合計し、回答者数で除した「平均点」を項目別に表示しました（*2）。

①プレゼンテーション技術	01. 教員の言葉は全体として明瞭で聞き取りやすかったですか
	02. 板書やスライドなどの文字は見やすかったですか
	03. プリント・スライド・VTR 等の教材は、授業の理解を深めるのに役に立ちましたか
②授業の運営方法	04. 講義は講義細目の通りでしたか
	05. 教員は、私語について注意するなど受講環境の適切な確保をしましたか
	06. あなた自身にとって、各回の授業の量はどうか感じられましたか
	07. あなた自身にとって、この授業のレベルはどうか感じられましたか
	08. 教員の熱意は伝わりましたか
③受講態度の評価	09. 授業方法は、あなたの理解度や到達度に留意し工夫されていましたか
	12. あなたは予習・復習など、授業時間以外での学習をしましたか
④受講結果の評価	10. あなたは授業内容に触発されて、参考書を読むなどの学習意欲をかきたてられましたか
	11. あなたは授業内容をどの程度理解できたと思いますか +SQ 理由を問う副問
	13. 総合的に見て、この授業にどの程度満足しましたか +SQ 理由を問う副問

*1：匿名性の確保が困難な「履修登録者数が 5 名未満の科目」、結果の意味が曖昧な「複数教員の担当科目」は、原則として実施対象から除外しました。

*2：問 04・問 06・問 07 は、回答番号が単純に肯定・否定を意味しないため、平均値としての表示はしていません。

[II]検討結果

集計結果と自由記述は担当教員に配布しました。そのうえで、学科などで議論した結果、次のような対応策と要望が示されました。大学の授業は、教員と学生がともに新しい知識を求める熱意と努力を共有することで成り立ちます。教員も授業改善に努めますので、皆さんも提言を受け止めて、大学生として求められる受講態度をつくるように努めてください。

●総合教育センター

【センターの対応】

- ・授業評価アンケートに一定の位置づけを与え、各教員の授業改善に役立てている。
- ・学生からの問題点指摘や要望（黒板の文字が読みにくい・小さい、話し方が速いなど）に対して改善に努めている。
- ・受講生に「何を学ぶのか」がわかるように、授業の冒頭に内容（項目）と構成を説明するようにした。
- ・座学であっても、できるだけ学生が参画できるスタイルを導入した。
- ・受講生の関心や水準を考慮した教材・テキストを取り入れている。

【学生への要望】

- ・学ぶことができる環境に感謝し、積極的・主体的に授業に参画してほしい。

●医療科学部

柔道整復学科

【学科の対応】

- ・ 教員相互の授業参観や相互の評価などを積極的に取り入れる。
- ・ アンケート結果の評価を学科会議等において議論し分析を行う。
- ・ すぐれた教科書や教材について教員相互で情報交換する。
- ・ 授業方法について教員相互で情報交換をする。

教員の熱意が感じられる授業を展開し、板書、特に重要項目を黒板に記載しノートにとらせ理解度を向上させる。理解できていないと思われたらわかりやすい授業を心がける。そして、質問時間を多く取るようにし、授業方法に工夫を考え、学生の喚起を考えた授業を進めるように改善を図る。

【学生へ要望】

- ・ 授業評価で不満が多い評価目は学生の実情に応じて補習、補完教育を行って充実を図る。
- ・ 授業内容が理解できない場合は質問できる時間をもうけてあることを学生に周知徹底して質問するように学生に要請する。

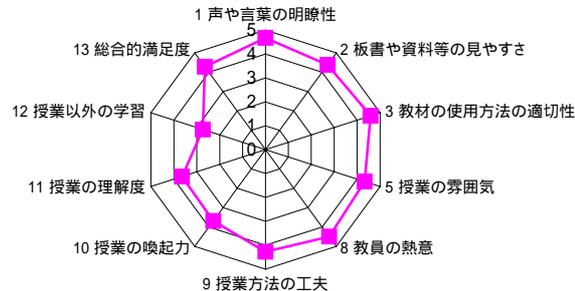
授業への出席が大前提であるという出席の大切さを認識すると共に、授業中は他人に迷惑をかけることを認識し積極的に発言し、その中から理解できないときは質問できるようにして、学ぶ意欲や勉強のおもしろさを知り主体的に学習する態度を身につけてほしい。

今年度も「授業評価アンケート」を実施しますので、ご協力お願いします。

授業コード								
集計区分	柔道整備学科[上野原] / [山梨]		開講曜日				回答者	234
担当教員			開講時限				回答率	94.4%
履修者数	248		開講場所				平均	無効回答
	回答5	回答4	回答3	回答2	回答1	平均	無効回答	
1 声や言葉の明瞭性	180	39	9	4	2	4.67	0	
2 板書や資料等の見やすさ	147	50	16	17	3	4.38	1	
3 教材の使用法の適切性	166	45	17	3	2	4.59	1	
4 講義の細目との一致度	110	65	7	0	50	2.80	2	
5 授業の雰囲気	110	92	27	1	2	4.32	2	
6 各回の授業量	27	73	133	0	0	3.55	1	
7 授業のレベル	14	90	129	0	0	3.51	1	
8 教員の熱意	141	73	15	2	2	4.50	1	
9 授業方法の工夫	111	86	27	6	3	4.27	1	
10 授業の喚起力	59	74	75	12	11	3.68	3	
11 授業の理解度	35	92	85	9	4	3.64	9	
SQ11 理解不足の原因	3	2	9	5	1	-	-	
12 授業以外の学習	13	32	93	67	27	2.73	2	
13 総合的満足度	100	74	29	2	3	4.28	26	
SQ13 不満者の改善意見	3	2	3	2	0	-	-	
14 各教員別質問事項	-	-	-	-	-	-	-	

各項目の平均値のグラフ

ただし
 4 講義の細目との一致度
 6 各回の授業量
 7 授業のレベル
 SQ11 理解不足の原因
 SQ13 不満者の改善意見
 14 各教員別質問事項
 の6項目は、数値の意味が他の項目と異なるので、除外してある。



説明:

- 平均は、項目4以外は、回答1～5の回答数にそれぞれ1～5を加重した平均値である。
- 項目4のみは、回答1の質の違いを考慮して、回答2～5の回答数にそれぞれ1～4を加重した平均値である。
- 項目6,7は回答3が最適値である。

